

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52

2008年度 第1回 西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録<確定稿>

- 開催日時：2008年4月8日（火） 午後7時15分～9時10分
■開催場所：田無総合福祉センター 第3会議室
■出席委員：阿部靖子、飯塚 睦、熊田博喜、坂口和隆、瀧島喜重、山下恭子、
渡辺美恵、中曽根聡<以上8名、敬称略、あいうえお順>
■欠席委員：安岡厚子、柳澤正樹<以上2名、敬称略、あいうえお順>
■事務局：齊藤 睦（総務課長）、丸木 敦（地域福祉課長）中澤一郎（主事）、
今林朝香（コーディネーター）、長山清美（コーディネーター） 篠原保之（係長）

■配布資料

- 資料 1：職員人事異動表
資料 2：西東京ボランティア・市民活動センター事業月次報告（3月）
資料 3：コーディネート状況等月次報告
資料 4：西東京ボランティア・市民活動センター予定表（4月）
資料 5：2007年度第7回災害時のシステムづくり専門委員会会議録<確定稿>
資料 6：2007年度第11回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録<未定稿>
資料 7：2008年度西東京ボランティア・市民活動センター事業執行計画（案）
資料 8：2008年度ボランティア・市民活動センターの今後の取り組み
資料 9：2008年度西東京ボランティア・市民活動センターを取り巻く状況の分析
資料別紙：西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会委員名簿
2007年度第11回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録<未定稿>
西東京ボランティア・市民活動センター活動紹介パンフレット
平成20年度西東京市社会福祉協議会事業計画～部署別～
平成20年度西東京市社会福祉協議会事業計画及び資金収支予算書

開会の挨拶

委員長：新年度となり事務局も職員の異動があったようなので後で報告がある。委員も新年度より1名増えることになった。また、1名の委員については、昨年11月で委嘱期間が終了していたため、委嘱をおこなう。

ここで委員長より新委員に委嘱状を交付。参加委員から自己紹介。議事に入る。

1. 報 告 事 項

(1). 職員人事異動に報告

別表のとおり、地域福祉課長より報告。

西東京市社会福祉協議会内で人事異動があった。前地域福祉課長が総務課長に、前西東京ボランティア・市民活動センター係長が地域福祉課長に。保谷障害者福祉センター主査がボランティア・市民活動センター係長に。正規職員は1名減。また、新採用のコーディネーター1名が3月17日付で採用された。

平成20年度は「地域福祉計画」の策定という大きな課題があること、来年3月オープン予定の新しい中間支援組織などを考えると、今年は正念場と考えていることなどの話があった。

事務局より挨拶ならびに自己紹介。

(2). 西東京ボランティア・市民活動センター業務報告

① 西東京ボランティア・市民活動センター事業月次報告（3月）

事務局より報告。質疑応答。

- ・ 「ボランティアのつどい」

1 新規の参加者が少なかったが、盛り上がっていた。パーティー形式の懇談も良かったと思う。
2 ・ 「ボラセン紹介号発行」
3 反響が大きく、発行からまだ数日しか経っていないがお問い合わせが多い。
4 委員 具体的にはどのような問い合わせがあったのか。
5 事務局 記事に掲載した活動団体の連絡先を教えてほしいとか、似たような活動先はないか、
6 活動に参加したいといった内容。カラーで写真を載せたのは効果があったと思う。
7 当初は1色刷りの予定だったが、予算的に目途が立ちカラー版が可能になった。
8 委員長 活動を紹介したりするものは他にはあるのか。
9 事務局 センターの外の廊下の壁に以前イベントで使っていた連絡ボードを掲げてみた。今
10 後も様々な形で考えていきたい。

11
12 ・ 「NPO 法人連絡会」
13 後ほど2008年度の事業執行計画でもお話するが、企業との連携についても話が出ている。
14 ● 質疑を終える。

15 ② コーディネート状況等月次報告

16 事務局より報告。年間集計も報告される。

17 委員長 新規登録者数について。数値目標に対しての達成率はどうなっているか。
18 事務局 昨年、一昨年と新規登録者数の数値目標を「150」と設定してきたが、2006年度の達
19 成率58.6%から2007年度は68.6%とあがっている。
20 委員長 どういった内容の登録が多いと分析しているか。
21 事務局 高齢関係、障がい関係の施設からの依頼が多いと認識している。
22 委員長 カウントは延べ数なのか実数なのか。
23 事務局 実数の紹介件数をカウントしている。何回も紹介施設等に参加しても1回と数えてい
24 る。
25 委員長 紹介数175ということだが、活動先を紹介できていない方はどのくらいいるか。
26 事務局 約60%に紹介できている。
27 委員長 登録したが、活動先の紹介がないというクレームはないのか。
28 事務局 クレームという形ではないが、その場合、登録をやめてしまった方が多いと把握
29 している。紹介ができていないケースとして、特技が特殊でニーズとマッチしない
30 例が含まれている。2007年度の総括がこれからのので分析を進めたい。

31 ● 質疑を終える。
32
33

34 ③ 西東京ボランティア・市民活動センター4月期業務予定

35 事務局より報告。平成20年度のボランティア保険の受付が行われていること、ぼらんていあ俱
36 楽部の仕分け発送事務についてボランティアを募り取り組むことが説明される。

37 委員長 どのくらいのボランティアの参加を予定しているのか。
38 事務局 参加のお声かけはしているが出欠の確認はしていない。田無の活動室で行うができる
39 だけ多く参加していただきたいと考えている。

40 ● 質疑を終える。
41

42 (3). 理事会報告

43
44 ○ 委員長より3月25日(火)に開催された理事会の報告が行われる。資料として20年度予算書
45 と部署別事業計画が配布される。

46 委員長 西東京ボランティア・市民活動センターの職員数減員に伴い、前回の運営委員会で変
47 更された西東京ボランティア・市民活動センター事業計画については、変更案を承認
48 された。職員の減員については、このことだけを取り上げての議案はなかったが、事
49 業計画、予算の審議の中で承認された。西東京市役所の福祉部長には面会を打診して
50 いる。半年で運営委員会の決定を変更せざるを得なかったことは遺憾である旨を伝え
51 たい。ぜひ皆さんも参加してほしい。

52 事務局 日程が決まりましたら、メールでご連絡をしますので、出欠を返答してほしい。我々
53 の意思や思いを伝えたい

1 ●質疑応答を終え、理事会報告を終了する。

2
3 (4) その他

4 ①2007年度第7回災害時のシステムづくり専門委員会会議録<確定稿>を事務局より報告。

5
6 **2. 審 議 事 項**

7
8 (1). 2007年度第11回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録について

9
10 ○第11回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録の確認を行う。

11 委員長より訂正などの意見はあるか確認。

12 ●訂正、削除、追加などの意見なく、第11回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会
13 会議録(未定稿)を確定稿とすることを承認した。

14
15 (2). 2008年度西東京ボランティア・市民活動センター事業執行計画(案)について

16
17 ○事務局から資料に基づき事業執行計画案を説明

18 事務局 自治会再生プロジェクトについては、昨年からの取り組みだが、今年度はふれあいの
19 まちづくりの「ほっと住吉」の地域を絡めて、災害という観点で進めていく予定もあ
20 る。コミュニティー再生などの名称の再検討も含めて、内容を考えていきたいと思う。
21 また、社会福祉協議会の業務として、西東京ボランティア市民活動センターが所属す
22 る地域福祉課のふれあいのまちづくり事業では、市内を20の小学校区単位で地域福祉
23 活動を行っている。20年度は西東京ボランティア・市民活動センター職員も2地区を
24 担当する。そのことはご理解いただきたい。

25 委員 これだけ忙しい中で大変とは思いますが、市民活動団体連絡会、企業懇談会の調査とはど
26 のようなものを考えているのか。

27 事務局 テーマの設定のためのアンケート、企業の社会貢献についてのアンケートなど有効な
28 調査が進められるよう、これから検討していく。あくまでも連絡会・懇談会の実施の
29 ためのもの。今年度以降の主となる活動であるため努力したい。実施の際には、運営
30 委員の皆様方にも参加をお願いしたいと考えている。

31 委員長 昨年度の事業評価については、どのようになされてきたのか。

32 事務局 新規の事業のみ実施した。その他の継続事業は、一昨年の評価を元に事業を進めてき
33 きた。今年度は、やっていかないといけないと考えている。評価表を使っての評価のみ
34 ではなく、様々な活動を通じて評価を進めていきたい。

35 委員長 メールニュースをフリーに読んでもらえるような取り組みについては、どのくらい進
36 んでいるか。

37 事務局 未だ進んでいない。早急に取り組みたいと考えている。

38 ●内容を確認の上、承認。

39
40 (3). 西東京ボランティア市民活動センターのアクションプランについて

41
42 ○事務局より、資料8の原稿の訂正あり。17ページ~まなびの場と相互交流の場の提供~の部分
43 が2重に表記されているので削除してほしい。訂正後の資料8・9に基づき、前回の運営委員会
44 の続きから「今後の取り組み」「取り巻く状況」についての討議を行う。(今回の資料は、前回
45 の運営委員会の意見を踏まえて改正)

46
47 ○まなびの場

48 委員 一人のボランティアの立場として、今までの講座の持ち方を見てきた。「ボランティア
49 のきっかけとなる具体的な講座」「ある程度続けると一歩深めた専門性を身につけたい
50 という気持ちをくみとめられる講座」「ボランティア精神を地域に育てていく講座」の
51 開催が必要と思う。ボランティア・行政・施設が同じ立場で対等に進められるものを
52 望んでいる。

53 委員 いろいろな組織と交流して工夫をしてボランティア意識養成講座のようなものが考え

- 1 られるのではないか。
- 2 委員 今までは施設が「これをやってください」と持ちかけてきていたが、だんだんと一方的なお願いだけではなくなっている。ボランティア側と受け入れ側が意見を言えるようになってきたのではないか。
- 3
- 4
- 5 ○チャンス～人材・活動分野について
- 6 委員 「働きかけていない社会資源が多い」というのはどういうことか。
- 7 事務局 関わりをもてていないところが多いと認識している。特に施設などは相手先から申し出がないとなかなか関わりがもてていないのが現状である。課題だと思っている。助成金の活用もできていない。
- 8
- 9
- 10 ○チャンス～競合相手について
- 11 委員 「今がチャンス」との分析があったが、時期を明確に表記してほしい。「今」なら「今すぐ」そのチャンスをつかまなくてはいけないのではないか。
- 12
- 13 委員 市民参画で事業を起こしてみたらどうか。「企画から一緒にやりませんか」と投げかけると自分でやろうと、成功させようと努力することにつながり、自主グループに発展することも期待できると思う。
- 14
- 15
- 16 ○強み・弱みについて
- 17 委員長 「強み」は行政に近い位置、「弱み」は行政と組めないところ、に焦点が集まっている感じがする。行政に対するアドボカシーという点が必要で、財政的な支援が基軸のように見えてくる。行政に対してもの申していくという強みは活かしてほしい。
- 18
- 19
- 20 ○弱み～物理的条件
- 21 委員 フリースペースの利用について、エレベーター前などの利用も考えられないか。掲示板・伝言板などの利用も進めてはどうか。武蔵野市の市民協働サロンは市役所にありNPO、市民活動団体、市民の相互交流ができる場になっている。
- 22
- 23
- 24 ○弱み～行政との関係
- 25 委員 協働事業の提案をしたらどうか。
- 26 ○中間支援センターについて
- 27 委員 分野を越えたつながりを広げていくことが大切。世代、異分野、課題を越えるつながりというものを考えるとサロンは意味があると思う。ちょっとコーヒーがあって、気軽に立ち寄れて、というものが作れないだろうか。
- 28
- 29
- 30 委員 市民参画という視点をもってほしい。どうしても参加というかたちのものが多い。参加するまでのプロセスが大切だと思う。そこが自主的なものにつながっていくのではないか。
- 31
- 32
- 33 委員 「多数のNPO等が支援を必要としている現状」の表記が消されているが。本当に必要のないのか。最近のNPOは「必要に迫られてNPO化せざるをえないところ」と「事業型NPO」があると思う。後者は企業との連携ができているところが多く自立しているとも言えるが、そのようなところも大きなNPOなりの必要な支援があると思う。
- 34
- 35
- 36
- 37 委員 NPOとNPO法人の違いはあると思う。NPOは純粋に市民活動を行っているところがあると思う。
- 38
- 39 委員 中間支援組織はNPOとの連携もするし、NPO同士をつなげることも必要になる。ネットワークを組むことも、コーディネーターも、マネジメントも求められる場合がある。
- 40
- 41 中間とは真ん中には入っているが平場で一緒にエネルギーを出すものでなければ中間支援センターにはなり得ない。
- 42
- 43 委員長 創業支援と書かれているが、コミュニティビジネスという言葉も日常化してきている。事業を進めていただきたい。
- 44
- 45 ○脅威について
- 46 委員 表記団体に削除線が引いてあるが、新事業に対して手を引いたということか。どうも財力のあるところが脅威と感じているのかなあと思っていたが。
- 47
- 48 事務局 動きがなくなったと認識している。
- 49 委員 中間支援組織を求めない団体とあるが、求めているのだから脅威にならないのではないか。また、あえて持ってもらわなくてもよいのではないか。必要ではない人までこちらを向いてもらわなくてもよいと思う。
- 50
- 51
- 52 ○市民参加について
- 53 委員 行政に提言できるようなものがあったらよいと思う。

- 1 委員 オーダーメイドの講座の開設を考えてみたらどうだろう。過去にやった講座も取り出
2 せるようなシステムも考えられないか。
- 3 委員 ボランティアを始めるのは大決心が要るけれど、楽しめて出られるものがあればよい
4 と思う。
- 5 委員長 ニッチな企画も必要。市民から発掘してもらうような企画があってもよい。最近市内
6 にも、活気が足りない商店街がある。シャッター通りになる危険もある。切り口にな
7 ると思う。NPO や学生をどのように取り入れていくのかは課題である。
- 8
- 9 ○ 西東京ボランティア・市民活動センターの活動場所について
- 10 委員 「弱み」で表記があったが、市から使えといわれている場所なのか。「ここしか使え
11 ない」ではなく「ここでなければだめなんだ」という場所を探して働きかけたりはし
12 ているのか。また、現在の場所も有効に使われているのか。使い方についての工夫も
13 含めて、利用の状況についてもどのくらい利用されているのかについて、統計を出し
14 てみてもよいのではないか。
- 15 事務局 社会福祉協議会が様々な事業を受けていく条件として「活動の拠点が欲しい」と申し
16 出てきた。田無総合福祉センターも市民が「ほしい」と声をあげてできてきた経過が
17 ある。センター内では所轄課の事業だけでなく、障がいの事業も入っている。年々障
18 がいの事業の拡大もあり、施設の事業が優先という方針がある。他の部屋も活動室と
19 して利用できていた時期もあったが、活動場所については現在のように落ち着いてい
20 る。現在の4階についても「1階に降ろして欲しい」と申し出てきたが、1階の連絡
21 センターの利用者が多く、その要望はかなえられていない。
- 22 事務局 今回お話が出なかった部分も含めて、次回以降も討議をお願いしたい。また、懸案と
23 なっているアクションプランの具体化もご指摘があったので、事務局で討議を進め、
24 次回会議でご報告できるようにしたいと考えている。
- 25
- 26 ● 以上をもって、2008年度第1回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会の審議を終
27 了し、散会する。
- 28

3. その他

(1). 次回運営委員会開催日程について

33 次回の運営委員会の確認を行う。

- 36 ● 日時 5月13日(火) 19:15~21:00
37 ● 会場：田無総合福祉センター 第3会議室

38
39 以上をもって、2008年度第1回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会の審議を終了し
40 散会する。